

専門英語（2年）

責任者・コーディネーター	病理学講座（病態解析学分野） 入江 太郎 教授 法科学講座（法歯学・災害口腔医学分野） 熊谷 章子 教授				
担当講座（分野）	教養教育センター外国語学科英語分野、解剖学講座（機能形態学分野）、解剖学講座（発生生物・再生医学分野）、生理学講座（病態生理学分野）、生化学講座（細胞情報科学分野）、病理学講座（病態解析学分野）、微生物学講座（分子微生物学分野）、薬理学講座（病態制御学分野）、医療工学講座				
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習	
期間	通期		前期	18.0時間	0.0時間
			後期	18.0時間	0.0時間

学修方針（講義概要等）

教養課程で履修した英語の理解度をさらに深めるため、グループワーク、ディスカッション、ディベートなどのアクティブ・ラーニングを活用した繰り返し演習・講義を実施する。本科目の修得により、医学・歯学で使用される基礎的な英語基本用語を再確認できる。3年次の医療リベラルアーツにおいて実施される専門英語の演習を行うに足る十分な歯学専門英語の知識を確実に身につけることができる。

教育成果（アウトカム）

医学・医療のグローバル化、先進化にともない、歯科医学・医療についての情報を収集する場面、増加する外国人の歯科診療を行う場面など、様々な場面で、英語を用いたコミュニケーションを行うことが必要とされる。専門英語では、1) 医学の共通語としての医学（歯科）用語を学び、臨床実習のケースプレゼンテーションや歯科医師国家試験における“歯科医学、医療分野で必要とされる英語”に備えるとともに、2) 教養課程で学んだ英語をさらに発展させ、専門論文などを読む上で必要な読解力を習得することで、総合的なコミュニケーションスキルを高める。

（関連するディプロマポリシー：7、8）

到達目標（SB0s）

1. 臨床の現場で使用される基礎的な歯学英语基本用語を理解できる。
2. 基礎的な歯学英语基本用語の成り立ちと基本構造を説明できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

事前学修については、各回到達目標の内容に関し教科書あるいは2D専門英語テキストを用いて調べるものとし、各回平均15分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとし、適宜、講義冒頭で事前学修内容の発表時間を設ける。

（事前学修：平均15分を要する 事後学修：平均15分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/7 (火)	4	柳谷千枝子准教授 (外国語学科英語分 野)	医学・歯学英语の基礎 I 医療（病気や症状な ど）に関連した英語や 表現を理解する。 医療に関連したトピッ クを読む。	1. 病気や症状など医療に関連した 英語を理解し、正確に読み、書き、 発音できる。 2. 医療に関連した英文を読んで、 要点を説明できる。 [CM-02, S0-07, C-2-5, C-7-1, C- 7-2]
	4/14 (火)	4			
講義	4/21 (火)	4	柳谷千枝子准教授 (外国語学科英語分 野)	医学・歯学英语の基礎 II 歯学に関連した英語や 表現を理解する。 歯学に関連したトピッ クを読む。	1. 歯学に関連した英語を理解し、 正確に読み、書き、発音できる。 2. 歯学に関連した英文を読んで、 要点を説明できる。 3. 客観的評価（中間試験）および フィードバックを受け、医学・歯学 英語の理解度をはかる。 [CM-02, S0-07, C-2-5, C-7-1, C- 7-2]
	5/12 (火)	3			
	5/19 (火)	4			
講義	6/9 (火)	4	松田竜宙助教 (外国語学科英語分 野)	医学・歯学英语の基礎 III 医療現場で使用する英 語表現を理解する。 英文の構造と内容を理 解する。	1. 医療現場で使用する英語を理解 し、応用できる。 2. 会話や英文の内容を、口頭また は文章で表現できる。 [CM-02, S0-07, C-2-5, C-7-1, C- 7-2]
	6/16 (火)	4			
講義	6/23 (火)	4	松田竜宙助教 (外国語学科英語分 野)	医学・歯学英语の基礎 V 医療に関連した英語や 表現を理解する。 様々な医療に関連した トピックを読む。	1. 医療に関連した英語を理解し、 正確に読み、書き、発音できる。 2. 医療に関連した英文を読んで、 要点を説明できる。 3. 客観的評価（中間試験）および フィードバックを受け、医学・歯学 英語の理解度をはかる。 [CM-02, S0-07, C-2-5, C-7-1, C- 7-2]
	6/30 (火)	4			

講義	11/9 (月)	1	藤原尚樹教授（機能形態学分野） 大津圭史教授、池崎昌二郎講師（発生生物・再生医学分野） 石崎明教授、帖佐直幸准教授、横田聖司講師（細胞情報科学分野）	医学・歯学の基本用語Ⅲ 基礎的な医学・歯学用語を理解する。	1. 医学・歯学分野の基礎的な英語用語を理解することができる。 2. 医学・歯学用語の成り立ちと基本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [CM-02, SO-07, C-2-5, C-7-1, C-7-2]
	11/16 (月)	1	黒瀬雅之教授（病態生理学分野） 武本真治教授、佐々木かおり助教（医療工学講座）		
	11/30 (月)	1	佐藤泰生講師（病態解析学分野） 中村正帆教授、山田ありさ助教（病態制御学分野） 石河太知教授、三浦利貴助教（分子微生物学分野）		
	12/7 (月)	1			
演習	12/14 (月)	1	入江太朗教授 (病理学講座 病態解析学分野)	医学・歯学の基本用語／演習（到達度評価試験）	1. 客観的な評価（到達度評価試験）を受け、達成度と理解度を知る。 2. 結果のフィードバックを受け、英語での理解度、コミュニケーション力の向上をはかる。 [CM-02, SO-07, C-2-5, C-7-1, C-7-2]

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	Medical Terminology A short course 9th ed.	Davi-Ellen Chabner	Saunders	2023年
参	Dental Terminology 3rd ed.	Charline M Dofka	Delmar Cengage Learning	2013年

成績評価方法・基準・配点割合等

総合評価：中間試験1(10%)，中間試験2(5%)，前期試験(35%)と後期到達度評価試験(50%)
 前期は、ハンドアウトを使用して講義をおこなう。中間試験2回と前期試験を行う。
 後期は、個々の英語力の多様なレベルに対応できるように、少人数のグループ学修（基礎系8講座（分野）の教員等が担当）の形式でおこない、使用するテキストを配布する。後期到達度評価試験により達成度と理解度を評価する。

到達目標	DP	中間試験1	中間試験2	前期試験	後期到達度試験	その他	合計
1	7,8	10	5	35			50
2	7,8				50		50
合計		10	5	35	50		100

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

- ・WebClassにテキストの音声ファイルを公開するので、活用すること。
- ・各々個人で、英語での理解度、コミュニケーション力の向上に努めること。
- ・各回到達目標の内容を使用するテキストとともに事前に教科書で調べること。

【フィードバック】

・中間試験1, 2については、講義内でフィードバックを行い、前期試験と後期到達度試験についてはWebClass上でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング】

・後期は少人数のグループ学修の形式で行われるため、グループ・ディスカッションやグループワークによるアクティブラーニングを行う。

【ICT】

講義前にWebClassに資料を提示するので事前学習に利用すること。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 無

授業に使用する機械・器具と使用目的 …特記すべき機械・器具等はございません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的